

「鐵と鋼」誌へ寄稿に関する規定

一 般

1. 原稿用紙は本會所定のものを使用されたし（御請求次第差上ります）。
2. 論文は簡單明瞭を旨とし、文體は平假名交り文とすること。
3. 數字は算用數字を用ひ、外國語は片假名にて記す。但し外國固有名詞は原語の儘記すこと。
4. 論文は圖、表、寫眞とも會誌3頁以内とされたし。
5. 圖、表、寫眞等は成るべく少くし、同一事項を圖、表兩方にて表す如きは避けられたし。
6. 圖、表、寫眞等の挿入個所は本文中に指定されたし。
7. 原稿は本文、圖、表、寫眞毎に各々別個に括假綴し、圖、表、寫眞にはそれぞれ番號、著者名を附記し置かれたし。

線 圖

9. A列4又は5の淡青色方眼紙又は白紙に墨書すること。但し文字は鉛筆書にされたし。
10. 線圖の寸法は次の標準に據られたし。

	割	合	例
線圖の横幅	500	1000	100~200mm
文字の高さ	20		4.0
太線	3		0.6
中線	2		0.4
細線	1		0.2

用語、數式

11. 用語は日本鐵鋼協會術語集に據られたし。
12. 紛はしい文字は次の例に従ふこと。

此、其、斯、夫、茲……………この、その、かく、それ、こゝ
 殆んど、盛んに、於いて、以つて……………殆ど、盛に、於て、以て
 クロマンガンタングステン鋼…………… Cr-Mn-W 鋼

$\frac{1}{2}$, $\frac{a-b}{c-a}$, $\lfloor n \rfloor$ ……………1/2, (a-b)/(c-d), n^1

\sqrt{a} , $\sqrt{a+b}$ …………… \sqrt{a} , $\sqrt{a+b}$ 又は $(a+b)^{1/2}$

r · p · m……………rev/mn

5—8……………5~8

千九百四十年……………1940年

13. 單位は特別の場合の外メートル法を用ひ、その記號は次の例に従ふこと。

キロメートル…………… km	トン (噸, 1000 kg)…………… t
メートル…………… m	キログラム…………… kg
センチメートル…………… cm	グラム…………… g
ミリメートル…………… mm	毎平方センチメートル・キログラム…………… kg/cm ²
平方キロメートル…………… km ²	毎平方ミリメートル・キログラム…………… kg/mm ²
立方メートル…………… m ³	毎平方センチメートル・キログラム・メートル…………… kgm/cm ²
リットル…………… l	溫度 (攝氏)…………… °C
立方センチメートル…………… cm ³ 又は cc	時間, 分, 秒…………… h, mn, s